

〈きっかけ〉

グローバル化、IT化が進む現代、医療分野においても英語力の必要性が高まっていることは論を待ちません。医学生向けの海外実習プログラムは着実に増加しておりその成果を上げています。しかし、英語力に自信のない学生にとってそういったプログラムへの参加は未だハードルが高いものとなっています。そこで、英語力に自信のない医学生にも参加できる『医学英語学習』にフォーカスを置き、さらに医療関連施設への見学も出来るプログラムを企画しました。



〈内容〉

医学英語に特化したコースです。少人数制でディスカッション、ビデオ教材を用いたリスニング、ロールプレイなどが行われます。内容は、医療現場での診療のための英語表現、科学的な文章の書き方、ポスター発表のための口語表現を学びます。教員は医師ではなく英語教育の専門家であるため、低学年の学生でも参加可能です。ロンドンなどへの小旅行や、家庭医クリニック、ホスピスなど医療関連施設の見学も行っています。

〈参加者の声〉

「このプログラムはこれから海外の病院に行きたい！または臨床留学したい！と思っている医学生にとってクッションになるようなプログラムだと

思います。これを通じて具体的な勉強法を習得したり、モチベーションが上がって将来の夢が一步現実に近づく、そんな企画だと思いました。また、このプログラムを通して日本全国の医学生の方たちと知り合えたこともとても嬉しく思っています。」医学部4年生

「授業以外の生活もすべて貴重な体験でした。このコースに参加しなければ出会うことはなかった、同じ医学の道を歩む仲間に出会うことができ、限られた時間を共有することで随分色々なことを話せたと思います。」医学部3年生



〈企画者つぶやき〉

私は日本の医学・医療の発展のためには少数の国際経験豊かなスペシャリストを育成することよりも、一人でも多くの方に欧米の医療との差を実感してもらうことのほうが重要だと考えます。この企画を通じ多くの方が実践的な英語力を身に付け、将来海外での実習・就職に役立ててもらいたいと願っています。

〈日本語ホームページ〉

レスター医学英語プログラム

<http://www.leicester-mep.co.uk/>



(ホームページ QR コード)

文：岩下義明